



第2号

令和4年5月31日

庄和すずらん幼稚園

保育随想

★ 泣ける！

緑の美しい季節を迎えました。保護者の皆さまのご協力で、親子遠足やいちご狩り、田植えなども実施することが出来ました。この2か月余り幼稚園の生活に慣れて貰うことに、子ども達も先生も一生懸命の日々でした。ママが良い～！そうですよね！此処までに幾度となく救ってくれたママが良いのです。困ったときにいつも救ってくれたママですから！

その時の対応は、一緒に泣いて居るだけでも良いのですが、先人は、おもちゃ売り場で、買って！買って！泣きじゃくる子どもを救い上げて、おーおーかわいそうに！買って貰えないで悲しいの？と言いながら、その場を移動して、しばらくすると気持ちが落ち着いて、そのおもちゃの事も忘れて、次にある目の前の事に普段通りに戻るものなんですよ！なんとも乱暴な扱いだなども感じたものでしたが、よく考えてみると、自分の気持ちが伝わらない、受け止めてもらえない状況に救いを求めていることに、思いが至りました。多くの事が、此のあたりの事を理解して受け止めて行ければ、原因がわかって解きほぐしても気持ちは楽にならないことを見ても、どうやら自分の今の気持ちを受け止めてくれる存在が、次への道につながるのかな？事実は解決していなくとも、そのあとは、自分で考え気持ちが落ち着く様に収めて行けるものなのだな！と考えるのです。いろいろな場面で思い通りに行かないことや場合によっては怪我につながる事が出て来ます。そんな時代に、おーおー可愛そうに！と気持ちを受け止めてくれる家族であり共に生活する先生が居てくれたなら、心おきなく泣けるのです。先日、小学校3年生の女の子の卒園生との話の中で、私、小さい頃に戻りたい、だって、お母さんに抱っこされたいから！と言うのです。如何でしょうか？それでも私も大人に成ってしまってますので、大人に成るとね、自分の子どもが出来た時に抱っこするともっと気持ち良いんだよ！なんて余計なことを言ってしまいました。そうだね～！と聞いてお終いにすれば良かったと少し悔いております。心おきなく泣ける時代から、我慢をしたり道理が分かって来たりして、いつの頃からか心おきなく泣くことを控えるようになって来ていますよね。それも、自分の事では泣かないように、それが強さだ！しかし、他の人の辛いことや悲しみや一生懸命な姿に胸が熱くなります。泣けます。皆さんも涙を流したい時は沢山お有りだったことと思います！私は弱音を吐かない！愚痴らない！辛いと言わない！痛くても痛いと言わない！これも頑張りかも知れません！こう言う方は、見方を変えると周囲に迷惑を掛けないように心して生きて居られるのかも知れません！

私たちは、周囲の人の幸せにも喜びにも不幸な出来事にも、共に同じ気持ちで涙を流せませぬ。大人に成って沢山の事を学びながら、生きやすい道を選択して生きて来ています。大人に成ると不自由ですか？いろいろな制約が有りますから！そうなんですよね、その諸々を考えてバランスをとって生きていますよね！それが大人の歩みなのですが、せめて、心おきなく子ども達を泣かせてあげませんか、せめて私達も心おきなく泣きませんか。